

# 5-4

## 伝達指導方式での施設内研修

介護士の介護士による介護士の為の医務研修

施設内研修

伝達方式

特別養護老人ホーム 富士見台特別養護老人ホーム

介護係長：桜本 淳	共同研究者（看護係長：竹村 恵子）
練馬区富士見台1-22-4	共同研究者（介護スタッフ全員）
TEL：03（5241）6010	E-mail： <a href="mailto:fujimi-tokuyoh@nerima-swf.jp">fujimi-tokuyoh@nerima-swf.jp</a>
FAX：03（5241）1760	URL： <a href="http://www.nerima-swf.jp">http://www.nerima-swf.jp</a>

今回の発表の施設 またはサービスの 概要 10p	平成6年開設。社会福祉事業団が運営する区立施設。特養50名。ショートステイ6名・デイサービス（一般型40名、認知型12名）・支援センター、居宅事業所、地域包括支所、訪問介護事業を併設する。閑静な住宅地に立地する施設です。
--------------------------------	--

<p style="text-align: center;">&lt;取り組んだ課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>介護士の日常業務における医療に関わるスキルアップを図る。</li><li>知識、技術、経験の不足による不安感を取り除く。</li><li>ケアの標準化を図る。</li><li>受身の研修から当事者意識を持った職員の育成。</li><li>伝達能力の向上を図る。</li></ul>	<p style="text-align: center;">&lt;活動の成果と評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>人に伝える事で理解が深まり、個々のスキルアップに繋がった。</li><li>研修の実施が夜勤入りに行われる事もあり、1人夜勤での不安が解消された。</li><li>介護士同士と短時間の研修のために、研修への参加率が向上した。</li><li>学んだ内容を職員間で教え合うなど、ケアの標準化に役立っている。</li></ul>
<p style="text-align: center;">&lt;具体的な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成18年度に施設内研修として、看護師が主体となり、医療に関する研修を介護士に実施していたが、平成19年度より看護師が講師役（進行役）の研修から、看護師から研修を受けた介護士が講師役となり、他の介護士に伝達し、さらにそれを違う介護士へと伝達していく伝達指導方式での研修を実施する。平成20年度からは19年度に研修を受けた職員が復習を兼ねて、新人職員を中心に伝達指導方式での研修を実施している。</li><li>介護職員にアンケートを実施し、医療に関する業務での日常感じている不安や実施して欲しい内容を調査、年間計画を立てて毎月実施し、研修資料は看護師が作成している。</li><li>研修実施は、1週間～2週間を目安（内容や勤務状況により変化）に日勤者から夜勤者への申し送りの時間に15分程度で行い、同じ内容を受講側と講師役の立場で繰り返し実施している。</li></ul>	<p style="text-align: center;">&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>大方の申し送りに参加しない非常勤職員などの研修参加率の向上。</li><li>職員の伝達指導能力の向上。（個々に差が大きい）</li><li>他部署（デイサービス、ヘルパー）にも参加を呼び掛けていく。</li></ul>
	<p style="text-align: center;">&lt;参考資料など&gt;</p>

【メモ欄】